

第151回スポーツサイエンス研究会

SGU（文部科学省スーパーグローバル大学創成支援
早稲田大学スポーツ科学学術院 健康スポーツ科学モデル拠点） 協賛

日時 2015年11月9日（月） 16:30より

場所 早稲田大学 所沢キャンパス 100号館5F 第一会議室

演題

パラリンピックとスポーツ医科学

河合 純一 先生

（日本スポーツ振興センター・スポーツ開発事業推進部）

パラリンピックの歴史、現状、未来についてスポーツ医科学の視点から述べる。パラリンピックは障害者のリハビリテーションとして誕生した。しかし、現在では競技スポーツとしてのパラリンピックを生み出した。とはいえ、障害者にとってのリハビリテーションがなくなるわけではない。まだ、解明されていない様々な研究分野があることを紹介する。また、パラリンピック大会においては、競技性と平等性を両立させるためのクラス分けというものがある。この方法についても、日夜研究が続けられている。障害種ごと、競技ごとの違いを説明し、理解を深めたい。さらに競技用具を使用する競技も多く存在している。材料工学、人間工学の立場からの貢献策をお伝えする。そして、2020東京パラリンピックに対し、スポーツ医科学は何ができるのかを共に考える機会とするため、現在実施されているスポーツ医科学サポートについて触れる。そのことを通じて、早稲田大学のスポーツ医科学は、これからどのようにしてパラリンピックと関わり、社会に貢献していくのか、その方向性を提示したい。



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人：正木宏明・枝伸彦
早稲田大学 スポーツ科学学術院
E-mail: nob-eda@aoni.waseda.jp